

鶴巣小学校 新しい生活様式ガイドライン

令和4年12月改正

活動時間	対 応		◆児童 ◇職員等
登校前	◆検温・健康チェック（保護者サイン） ◆ハンカチ・ティッシュ持参 ◆予備マスク（ランドセルの中） ◆登下校時はマスクを外すことも可 ◆人と十分な距離を確保し、会話を控える ◆スクールバス等の乗車	○発熱、喉の痛み、咳、下痢、息苦しさ、全身倦怠感、嗅覚・味覚異常等の有無 <div>・マスクの着用 ・会話を控える ・登校後、速やかに手洗い ・手すりなどに触れた手で、目や鼻、口に触れない</div>	○発熱または風邪の症状がある場合は無理せず自宅で療養する <div>感染等の事由が生じた場合</div> <div>↓</div> 出席停止等の対応を行う
登校時	◇健康チェックカードの確認 ◇児童の健康状態を把握（検温していない児童は、玄関で検温する） ◆マスクの着用 ◆手洗い・アルコール消毒	◇欠席や遅刻・早退児童の健康状態を、教職員で情報共有 ◇マスクを忘れた児童には配布	<div>体調不良者の対応</div> <div>↓</div> ○発熱・咳等の体調不良者は保護者に連絡し早退させる
朝の会	◆手洗い（体育館での遊びの後） ◇健康観察（担任）	◇健康観察結果を管理職に報告（養護助）	
授 業	◆マスクの着用 ◇座席の間隔を 1m以上とる ◆実技や実習を伴う授業は、授業の前後に手洗い（共有の物に接触した場合など）（手指消毒も可）	<div>感染症防止の基本</div> <div>①手洗い（手指消毒も可） ・流水と石けんで、こまめに、ていねいに（30 秒程度）洗う 外から教室に入るとき・トイレの後・清掃の後・食事の前後 咳やくしゃみ、鼻をかんだとき・たくさんの人が使うものを触ったとき</div> <div>②マスクの着用 ・身体的距離が確保できない場合は、原則としてマスクを着用 ただし、会話を殆ど行わないような場合は外してもよい ・健康被害が発生するおそれがあるときは外す</div> <div>③密閉・密集・密接を避ける ・人との間隔はできるだけ 2m（最低 1m）空ける ・身体接触活動の制限（握手、ハイタッチ、肩を組む等） ・会話は近距離を避け、大声での会話を控える ・換気は気候上可能な限り常時、困難な場合はこまめに（30 分に 1 回以上、数分間程度、窓を全開にする）2 方向の窓を同時に開ける（エアコン使用時においても換気する）</div>	
休み時間	◆マスクの着用 ◆密集密接を避ける ◆近距離での会話を控える ◆休み時間後の手洗い		
給 食	◆手洗い・アルコール消毒 ◆給食当番：健康チェック ◆一方向を向き、大声での会話を控える ◇配膳台、テーブルの消毒		
掃 除	◆マスクの着用 ◆掃除後の手洗い ◇換気の良い状況 ◇教室や多数が触れる場所の消毒		
下校後	◇教室や多数が触れる場所の消毒		
帰宅後	◆手洗い ◆感染リスクの高い場所への外出は控える ○抵抗力を高める：十分な睡眠・適度な運動・バランスのとれた食事		

心のケア	◇新型コロナへの心配や不安が軽減されるよう、心のケアに配慮 ◇スクールカウンセラー等による支援を行い、心の健康問題に適切に取り組む
差別偏見	◇体調不良の児童が差別的扱いを受けることのないように配慮（マスク着用の有無による差別・偏見を含む） ◇偏見や差別につながるような言動に対して、毅然とした態度で対応 ◇保護者等から初期症状に関する相談・連絡があった場合、個人情報の管理を徹底 ◇罹患した場合であっても、感染者が特定されることのないよう十分配慮

※今後の状況により対応内容を追加・修正の場合あり